

領域	連携教育(ナンバーワン・スクール)	
主題	豊かなかかわり合いの中で、たくましく自立できる子どもの育成	
主題設定の理由	<p>東祖谷では、一体型校舎で小学生と中学生が共に学び、同一敷地内に東祖谷認定こども園も設置されている。つまり、東祖谷の全ての子どもたちが時間や空間を共有しながら、同じ場所で学んでいる。</p> <p>そこで、本校では、こども園との接続を円滑にするるとともに、小・中9年間の学びと育ちをつなぐ教育を推進している。特に、小学校と中学校が連携して一貫性のある教育活動を展開していくことが重要になる。</p> <p>また学校は、東祖谷地域の拠点校としての役割も果たし、地域に開かれた学校づくりを旨としている。さらに本校は、「児童生徒同士」「児童と中学校教師」「生徒と小学校教師」「児童生徒と地域の方々」のかかわり合いが頻繁に展開されており、様々な人との豊かなかかわり合いを実現できる教育環境でもある。</p> <p>このように、こども園・小学校・中学校の教育活動を円滑につなぎ、保護者や地域との連携、子ども同士や子どもと教師との豊かなかかわり合いを強固にした教育を進展させたいと考えた。そのことが東祖谷の子どもたちに、「たくましく自立できる力」を育成すると考え、本主題を設定した。</p>	
	ステップアップ・スクール(小学校)	ステップアップ・スクール(中学校)
領域	知育・徳育・体育	知育・徳育・体育
主題	<p>みんなで育つ！みんなで育てる！東祖谷小教育の実践</p> <p>①ドリル学習や学び合いの充実で、基礎的・基本的知識・技能、言語力・表現力を育成</p> <p>②「乗り入れ」「TT」で授業を充実！学習意欲・学力アップ</p> <p>③地域の人・文化のなかで培うふるさと東祖谷を愛する心</p>	<p>みんなで伸びる！みんなで伸ばす！東中教育の実践</p> <p>①朝学習や読書・学び合いの充実で基礎学力・学習習慣の定着、思考力・判断力・表現力の育成</p> <p>②道徳教育、人権学習、特別支援教育の連携で育む思いやりの心と確かな人権意識</p> <p>③地域とかかわり、文化や伝統を学び培う郷土愛と自尊感情の醸成</p>
主題設定の理由	<p>①これまでの取組により「話す・聞く」「発表の仕方」が身につく、話し合い活動や人前での発表に積極的に参加できるようになってきた。基礎的・基本的な知識・技能、及び言語力・表現力をさらに高めていくことをねらいとし、各学年、朝のドリル学習や各教科の学び合い活動を充実させていく。また、各学年にふさわしい学習リーダーを育成することで、自己表現力を高めたり、仲間とともに学び合おうとしたりする姿勢を育てていきたい。</p> <p>②東祖谷の子どもたちは東祖谷小中の全教職員で育てていこうとする意識が全員に浸透しつつある。そこで、本年度も小中の相互乗り入れを推進させる。また、特別支援学級担任をはじめ、複数の教職員が様々な学年の教科指導にかかわる体制をとる。そうすることで、専門性や多様性を生かした授業のもとで、児童一人一人が学ぶ楽しさを実感し、学習意欲・学力が向上していくこと目指していきたい。</p> <p>③祖谷衆太鼓を受け継ぐ「ふるさと学び舎太鼓」や、地域の特産品である、そば・じゃがいも・こんにやく栽培等を通して、地域の様々な人と交流し、東祖谷に生きる先人の思いや姿からふるさとを愛する心を学ばせたい。</p>	<p>東祖谷では東祖谷小中学校を卒業するということは、「ふるさとを離れる」ということである。この「15歳の旅立ち」を迎えるにあたり「自立」できる生徒を育てることが一つの課題である。</p> <p>①学力の定着に個人差があるため朝学習を活用した個に応じた指導により、基礎学力の定着をはかりたい。また、自主学習ノート指導により自主的に学習する態度や習慣をつけたい。そして、高校進学などで違った環境や集団に入ったとき、人の話をしっかりと聞き、自分で判断したり、自分の考えを分かりやすく述べたりできる力を育てたい。</p> <p>②児童生徒が一体型校舎で学んでいる本校において、中学生の果たす役割は大きい。こども園も隣接しており、合同運動会や合同避難訓練など、様々な場面で連携が図られている。そのような中で中学生として思いやるある行動ができたり、人として正しい行動がとれたりする力は大切である。そこで多様な教育活動を通して道徳性や人権意識の醸成を図りたい。</p> <p>③卒業と同時にふるさとを離れる子どもたちに「東祖谷」に誇りを持ち、ふるさとや自分自身を大切に、たくましく生きる力を育てたい。そのために地域と主体的にかかわり、伝統や文化を学ぶ中で郷土愛や自尊感情の醸成を図りたい。そして将来、ふるさとや徳島に帰ってきて活躍する人材を育てたい。</p>